

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	北陸財務局長
【提出日】	平成25年2月14日
【四半期会計期間】	第46期第3四半期（自平成24年10月1日至平成24年12月31日）
【会社名】	アルビス株式会社
【英訳名】	ALBIS Co.,Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 大森 実
【本店の所在の場所】	富山県射水市流通センター水戸田三丁目4番地
【電話番号】	0766(56)7200(代表)
【事務連絡者氏名】	常務取締役管理本部長 池田 和男
【最寄りの連絡場所】	富山県射水市流通センター水戸田三丁目4番地
【電話番号】	0766(56)7200(代表)
【事務連絡者氏名】	常務取締役管理本部長 池田 和男
【縦覧に供する場所】	株式会社名古屋証券取引所 (名古屋市中区栄三丁目8番20号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第45期 第3四半期連結 累計期間	第46期 第3四半期連結 累計期間	第45期
会計期間	自平成23年 4月1日 至平成23年 12月31日	自平成24年 4月1日 至平成24年 12月31日	自平成23年 4月1日 至平成24年 3月31日
営業収益(千円)	51,028,272	48,796,998	66,899,635
経常利益(千円)	1,029,241	1,101,946	1,292,684
四半期(当期)純利益(千円)	449,221	479,406	522,713
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	484,262	643,957	578,058
純資産額(千円)	13,544,008	13,759,359	13,637,804
総資産額(千円)	33,269,964	32,501,023	32,280,467
1株当たり四半期(当期)純利益 金額(円)	13.82	14.96	16.08
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	14.93	-
自己資本比率(%)	40.7	42.3	42.2

回次	第45期 第3四半期連結 会計期間	第46期 第3四半期連結 会計期間
会計期間	自平成23年 10月1日 至平成23年 12月31日	自平成24年 10月1日 至平成24年 12月31日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	8.19	6.01

- (注) 1. 営業収益は、売上高に不動産賃貸収入を加えたもので表示しております。
2. 営業収益には消費税等は含んでおりません。
3. 第45期第3四半期連結累計期間及び第45期は希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、いずれも潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額は記載しておりません。
4. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2【事業の内容】

当社グループは当社、連結子会社4社及び非連結子会社1社により構成されています。

当社及び連結子会社である㈱サンピュアーは、直営食品スーパーマーケットを主な事業としており、それに付随して不動産賃貸などを行っております。また、連結子会社の㈱アルデジャパンは惣菜品の製造及び精肉加工を、連結子会社の㈱クレハ食品は豆腐商品類の製造を、連結子会社のアルビスクリーンサポート㈱は回収選別事業などを行っており、いずれも直営スーパーマーケットを補完する事業として位置付けております。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」からの重要な変更があった事項は、以下のとおりであります。

なお、以下の見出しに付された項目番号は、前事業年度の有価証券報告書における「第一部 企業情報 第2 事業の状況 4 事業等のリスク」の項目番号に対応したものであります。

(記載を削除するもの)

(4) 経営成績に重要な影響を与える要因について

当社グループは、主たる事業をスーパーマーケット事業に転換し、外販売上における特定少数の得意先スーパーマーケット等(以下「当該先企業」という)との取引を段階的に中止しています。当第3四半期連結累計期間の当該先企業への売上高は521百万円であり、連結営業収益に対する割合は1.1%で、また、当該先企業に対する売掛金残高は、前事業年度末時点で187百万円でしたが、当第3四半期連結累計期間末現在は42百万円に減少しております。

従って、今後、当該先企業との取引が減少した場合または当該先企業の業績が悪化した場合においても、当社グループの業績の悪化あるいは財政状態に大きな影響を及ぼす可能性はないものと判断いたしました。

2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ(当社及び連結子会社)が判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、震災からの復興需要による下支えはあるものの、世界経済の停滞等により、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

小売業界におきましては、消費者の先行き不安による節約志向と、競合店の新規出店及び業種・業態を超えた企業間競争が一層強まり、厳しい経営環境となっております。

このような状況の下、当社グループは、小売業に事業を転換した節目にあたり、「企業理念」、「経営理念」、「アルビスの行動精神」を小売業の指針として再構築するとともに、「信頼されるスーパーマーケットの確立」を目指し、次の取組みを行いました。

営業面におきましては、お客様の節約志向にお応えするため、生活必需品や消費頻度の高い商品群の販売強化を一層推進しました。また、競合店との差別化を図るため、PB商品の開発及び生鮮を中心とした美味しい(価値ある)商品の販売にそれぞれ取組みました。

さらに、シニア世代への対応として惣菜商品や個食商品の品揃え充実と、お客様の購買意欲向上への対応として夕方ピークタイムの欠品防止に継続して取組みました。

これら以外の取組みとして、物流センターの一部を機能的に見直し、店舗における作業効率の改善に取組みました。

店舗開発面におきましては、アルビスとなみ店に続き、平成24年10月に『アルビス野村店』を開店いたしました。なお、当第3四半期連結会計期間末の店舗数は51店舗であります。

当第3四半期連結累計期間の営業収益は、前連結会計年度に開店した高柳店・奥田店や当第3四半期連結累計期間に出店したとなみ店・野村店の売上が貢献したものの、外販売上高と既存店売上の減少等により、減収となりました。営業利益・経常利益につきましては、前第3四半期連結累計期間より売上総利益率が改善されたことと、継続して業務改善によるコスト低減に取組んだ結果、販売費及び一般管理費の総額は前第3四半期連結累計期間と比べ2.1%減少したことにより、増益となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、営業収益48,796百万円(前年同期比4.4%減)、営業利益888百万円(前年同期比5.2%増)、経常利益1,101百万円(前年同期比7.1%増)、四半期純利益479百万円(前年同期比6.7%増)となりました。

(2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(3) 研究開発活動

該当事項はありません。

(4) 主要な設備

前連結会計年度末において計画中であった重要な設備の新設が、当第3四半期連結累計期間において完了したものは次のとおりであります。

会社名 事業所名	所在地	事業の部門	設備の内容	完了年月	完成後の増加能力
アルビス(株) イータウンとなみ及び となみ店	富山県 砺波市	スーパーマ ケット部門	店舗新設他	平成24年 7月	年間売上 1,800百万円

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	100,000,000
計	100,000,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末現在発行数(株) (平成24年12月31日)	提出日現在発行数(株) (平成25年2月14日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	33,779,634	33,779,634	名古屋証券取引所 市場第二部	単元株式数 1,000株
計	33,779,634	33,779,634	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成24年10月1日～ 平成24年12月31日	-	33,779,634	-	1,829,322	-	2,405,774

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成24年9月30日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成24年12月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 2,003,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 31,723,000	31,723	-
単元未満株式	普通株式 53,634	-	1単元(1,000株) 未満の株式
発行済株式総数	33,779,634	-	-
総株主の議決権	-	31,723	-

【自己株式等】

平成24年12月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数(株)	他人名義所有 株式数(株)	所有株式数の 合計(株)	発行済株式総数 に対する所有株 式数の割合 (%)
アルビス株式会社	富山県射水市流通センター水戸田三丁目 4番地	2,003,000	-	2,003,000	5.93
計	-	2,003,000	-	2,003,000	5.93

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成24年10月1日から平成24年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,961,749	4,027,496
売掛金	320,963	251,673
商品	1,470,473	1,754,559
仕掛品	960	278
原材料及び貯蔵品	50,741	69,215
その他	783,302	736,441
貸倒引当金	54,797	11,868
流動資産合計	6,533,393	6,827,797
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,362,568	7,923,990
土地	10,094,292	10,031,886
その他(純額)	1,644,015	1,615,302
有形固定資産合計	19,100,875	19,571,179
無形固定資産		
のれん	564,816	395,561
その他	650,776	612,044
無形固定資産合計	1,215,593	1,007,606
投資その他の資産		
敷金及び保証金	3,782,613	3,721,281
その他	1,865,821	1,595,191
貸倒引当金	217,829	222,032
投資その他の資産合計	5,430,604	5,094,440
固定資産合計	25,747,074	25,673,225
資産合計	32,280,467	32,501,023
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,680,966	4,314,935
短期借入金	852,000	602,000
1年内返済予定の長期借入金	3,051,102	3,000,760
未払法人税等	176,335	279,367
賞与引当金	346,546	158,878
その他	1,850,953	2,044,746
流動負債合計	9,957,904	10,400,689
固定負債		
社債	300,000	300,000
長期借入金	6,357,897	6,221,229
受入敷金保証金	834,297	723,238
資産除去債務	416,752	438,367
その他	775,812	658,139
固定負債合計	8,684,758	8,340,974
負債合計	18,642,662	18,741,663

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,829,322	1,829,322
資本剰余金	2,545,005	2,545,005
利益剰余金	9,710,041	9,932,319
自己株式	305,374	570,622
株主資本合計	13,778,994	13,736,025
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	143,460	21,089
その他の包括利益累計額合計	143,460	21,089
新株予約権	2,270	2,244
純資産合計	13,637,804	13,759,359
負債純資産合計	32,280,467	32,501,023

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	50,192,517	47,958,093
売上原価	36,289,519	34,305,178
売上総利益	13,902,998	13,652,914
不動産賃貸収入	835,754	838,905
営業総利益	14,738,752	14,491,819
販売費及び一般管理費	13,894,157	13,602,906
営業利益	844,595	888,912
営業外収益		
受取利息	23,887	23,170
受取配当金	13,514	12,350
受取手数料	37,176	35,271
受取販売奨励金	78,114	57,778
その他	174,139	221,805
営業外収益合計	326,832	350,377
営業外費用		
支払利息	134,315	124,866
その他	7,871	12,476
営業外費用合計	142,186	137,342
経常利益	1,029,241	1,101,946
特別利益		
固定資産売却益	-	38
投資有価証券売却益	28,338	-
地役権設定益	10,691	-
賃貸借契約解約益	-	107,400
リース資産減損勘定取崩益	-	140,386
特別利益合計	39,030	247,825
特別損失		
固定資産除却損	2,659	19,411
固定資産売却損	197	12,995
投資有価証券評価損	70,854	221,003
預託金貸倒引当金繰入額	-	5,000
賃貸借契約解約損	-	11,486
特別損失合計	73,711	269,897
税金等調整前四半期純利益	994,559	1,079,874
法人税、住民税及び事業税	272,258	372,019
法人税等調整額	273,079	228,448
法人税等合計	545,338	600,467
少数株主損益調整前四半期純利益	449,221	479,406
四半期純利益	449,221	479,406

【四半期連結包括利益計算書】
 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	449,221	479,406
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	35,040	164,550
その他の包括利益合計	35,040	164,550
四半期包括利益	484,262	643,957
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	484,262	643,957
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

【会計方針の変更】

(減価償却方法の変更)

法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
減価償却費	1,062,764千円	1,033,812千円
のれん償却額	169,254	169,254

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

配当に関する事項

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年6月29日 定時株主総会	普通株式	130,025	4.00	平成23年3月31日	平成23年6月30日	利益剰余金
平成23年11月4日 取締役会	普通株式	130,025	4.00	平成23年9月30日	平成23年12月2日	利益剰余金

当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

配当に関する事項

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月28日 定時株主総会	普通株式	130,023	4.00	平成24年3月31日	平成24年6月29日	利益剰余金
平成24年11月5日 取締役会	普通株式	127,105	4.00	平成24年9月30日	平成24年12月7日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

当社グループは、全セグメントに占める「スーパーマーケット事業」の割合が高く、開示情報としての重要性が乏しいことから、セグメント情報の記載を省略しております。

当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

当社グループは、全セグメントに占める「スーパーマーケット事業」の割合が高く、開示情報としての重要性が乏しいことから、セグメント情報の記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	13円82銭	14円96銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	449,221	479,406
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	449,221	479,406
普通株式の期中平均株式数(千株)	32,506	32,041
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	-	14円93銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益調整額(千円)	-	-
普通株式増加数(千株)	-	59
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	-	-

(注) 前第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

平成24年11月5日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議しました。

- (イ) 中間配当による配当金の総額 127百万円
- (ロ) 1株当たりの金額 4円
- (ハ) 支払請求の効力発生日及び支払開始日 平成24年12月7日

(注) 平成24年9月30日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払いを行っております。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年2月14日

アルビス株式会社
取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 大村 啓三 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 岡田 芳明 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているアルビス株式会社の平成24年4月1日から平成25年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成24年10月1日から平成24年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、アルビス株式会社及び連結子会社の平成24年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。